



協会webサイト

- 理事長就任あいさつ
- 被爆80年 平和関連行事案内(7月～9月)
- 令和6年度 長崎平和推進協会 事業報告
- 国連と追悼する戦後80年平和コンサート
- 原爆死没者の氏名と遺影の登録申し込み
- 語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言者)募集
- 長崎ピースプレナーフォーラム

- 令和7年度 長崎平和推進協会 理事・監事・評議員紹介
- 平和推進協会 被爆80年記念事業開始
- 被爆証言映像「8月9日の記憶」上映会
- 原爆死没者名簿の風通し
- コラム「アトミック・ベテランズ」
- 会員の広場
- 見よう聞こう考えようin追悼平和祈念館



就任ご挨拶

理事長 調 漸 しらべ すすむ



このたびの役員改選に伴い改めて理事長に就任することになりました調漸です。3期目となりますが新たな気持ちで職責を果たしていく所存ですのでよろしく願います。

長崎平和推進協会では、「被爆者による体験講話」「平和案内人による被爆遺構ガイド」を始めとする各事業、また長崎市から受託している「語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)推進事業」などの次世代継承業務や、国から受託している「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の管理運営」を通して様々な平和推進事業を展開しています。協会の各事業を円滑に運営できるのは、会員や市民の皆様のご理解・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

今年は長崎・広島にとって被爆80年の節目の年に当たります。当協会では長崎市との連携のもと「世界の恒久平和」と「核兵器廃絶」のため、私たち一人ひとりが平和について考え行動する「平和の文化」を市民社会に根付かせていくための取り組みを進め、平和のネットワークを広げていきたいと考えています。引き続き皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

令和7年度 長崎平和推進協会

理事会・評議員会を開催しました



令和7年度第1回 通常理事会

5月30日に通常理事会、6月17日に定時評議員会及び臨時理事会を追悼平和祈念館交流ラウンジで開催しました。通常理事会では、令和6年度の事業報告及び決算の決議が行われた他、理事長、副理事長の職務の執行状況について報告しました。定時評議員会では、令和6年度の事業報告を行い決算が承認され、任期満了に伴う理事及び監事、退任に伴う一部の評議員が選任されました。また定時評議員会終了後に臨時理事会を開催し、理事長、副理事長及び新たに専務理事が選任されました。

令和7年6月17日以降の理事、監事、評議員の方々は左記のとおりです。

【理事12人】

理事長 調 漸

副理事長 升本 由美子

三根 眞理子

専務理事 中川 正仁

飯沼 智、井上 琢治

小林 雄太、田中 重光

縄本 恵太、橋元 文

本田 魂、山田 貴己

【監事2人】

佐藤 宏文、野口 将司

【評議員20人】

・印は新任

新井 忠洋、阿波村 功一

五十嵐 大輔、磯部 翔

大嶋 真由子、大矢 正人

鬼塚 喜隆、加藤 小夜

神崎 真一、久間 哲彦

久保 純一、小淵 義輝

白石 邦俊、田中 洋一

中島 三博、野崎 健太

船本 貴之、山口 善生

吉井 剛、渡部 明

※敬称略、五十音順

被爆80年 平和関連行事(7~9月)のご案内

第40回 長崎平和音楽祭

日時 7月6日(日)
14時00分~16時00分

場所 長崎市平和会館ホール

☎ 平和音楽祭事務局 095-823-9373



被爆80年 ナガサキ原爆写真展

期間 7月23日(水)~8月4日(月)

時間 10時00分~18時00分

場所 不動技研ながさき市立図書館 多目的ホール

☎ 長崎平和推進協会 095-844-9922



原爆資料館・追悼平和祈念館 開館延長

期間 8月7日(木)~9日(土)

時間 8時30分~20時00分

☎ 長崎原爆資料館 095-844-1231
追悼平和祈念館 095-814-0055

平和案内人ガイド時間延長

期間 8月7日(木)~9日(土)

時間 9時00分~20時00分
3日間は活動時間を延長、ガイドも増員

☎ 長崎平和推進協会 095-844-9922

永遠の会による特別常駐朗読

日時 8月8日(金)9時00分~18時00分
8月9日(土)8時30分~18時00分

場所 追悼平和祈念館 追悼空間

☎ 追悼平和祈念館 095-814-0055

朗読劇「ノーモア・ヒバクシャ」

日時 8月31日(日)
14時00分~15時00分

場所 原爆資料館ホール

☎ 長崎平和推進協会
095-844-9922



大石芳野写真展

期間 9月15日(月・祝)~25日(木)

時間 8時30分~17時30分

場所 追悼平和祈念館 交流ラウンジ

☎ 長崎平和推進協会
095-844-9922



平和の灯 (キャンドルライトアップ)

日時 9月27日(土)
17時45分~19時00分

場所 爆心地公園

☎ 平和の灯実行委員会
095-844-3913



長崎平和推進協会の被爆80年記念事業は始まっています!!



Instagram Follow me!
8月9日まで
毎日配信!



これまで被爆地では二度と核兵器によって傷つく人が生まれないように「微力だけど無力じゃない」を合言葉にたくさんの人々が努力を積み重ねてきました。

願いが行動になり、行動が変化を起こす。変化はゆっくりと、でも着実に起きています。

だから、小さくてもできることをやってみよう。

私たちはそんな皆さんと共にアクションを起こせるように、被爆80年にちなんで80のアクションを8月9日まで紹介していきます。

一緒にできることをやってみませんか?

大型看板電車 運行中 【4月~12月】



令和6年度 長崎平和推進協会 事業報告

I 平和推進事業 72,026,254円 (①+②+③+④+⑤+⑥)

① 広報事業費 1,273,683円

「会報へいわ」や「平和のあゆみ」等の発行、LINEなどSNSでの情報発信

② 啓発事業費 2,726,575円

被爆体験講話者派遣 原爆被災写真パネル・DVD貸出

被爆者証言ビデオの作成 平和に関する講演会等の実施

国連軍縮週間行事「市民のつどい」

③ 継承事業費 9,989,832円 (長崎市からの受託事業)

県外原爆・平和展

青少年ピースフォーラム

青少年ピースボランティア育成

平和学習発表会及び教材等配布

語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)推進

④ 調査研究費 45,290円

⑤ 育成事業費 8,575,150円

部会活動 平和意識の啓発・高揚を図るため、会員で組織する4部会が自主的な活動に取り組んだ

①継承部会：29人 ②国際交流部会：23人

③写真資料調査部会：8人 ④音楽部会：13人

平和案内人育成・派遣 原爆資料館や被爆建造物等を案内するボランティアガイド「平和案内人」を派遣した

国際青年平和交流事業 高校生ら若者が提案・実施した平和や国際交流に関する企画を支援した

平和事業支援・秋月グラント 協会の活動趣旨と合致する事業等に対し、共催・後援や助成を行った

⑥ その他費用 49,415,724円 人件費、事務費など



II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業 262,434,285円

国(厚生労働省)から「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の管理・事業運営を受託し、原爆死没者の追悼と平和祈念に関する様々な事業を実施した。

〈主な事業〉

原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開・名簿保管、被爆体験記等の収集・整理・公開、企画展の開催、執筆補助、証言ビデオ等の制作、海外原爆展・若者による平和ネットワーク構築プログラムの開催、被爆体験記朗読ボランティアの育成・派遣、被爆者及び家族・交流証言者の派遣、国際平和映画祭等の開催 など



III 収益事業 13,324,979円

自主財源を確保するため、原爆に関する書籍やオリジナルグッズを販売した。令和6年度は、国際クルーズ船の長崎入港がコロナ禍前の水準近くまで回復したことから外国人観光客も多く来館し、「Peaceなねこ」シリーズと共に「おりがみ」「Tシャツ」の販売数が伸びた。



IV 法人会計 4,641,538円

社会保険労務士、税理士等から助言を受け、法人を的確に運営した。理事会・評議員会を開催した。

音楽や書を通じ平和について考えてもらうイベント（平和の文化関連事業）

「ナガサキの郵便配達」

朗読と音楽で紡ぐ

平和への想い

開催日:8月24日

会 場:原爆資料館ホール



ラウンジコンサート2024

「Music Garden

Pray & Play」

開催日:9月14日、10月12日、
11月16日

会 場:追悼平和祈念館交流ラウンジ



森田孝子書道展

「平和への願いを

書に託して」

開催日:11月2日～7日

会 場:追悼平和祈念館
交流ラウンジ



県外原爆・平和展（長崎市からの受託事業）

長崎県外の方々に原爆の悲惨さや平和の大切さを知ってもらい、長崎市民の核兵器廃絶の願いを伝えることを目的に「県外原爆・平和展」を実施しています。令和6年度は千葉県浦安市、福岡県北九州市、福岡県久山町で開催し、3自治体あわせて約7万人が来場されました。展示だけでなく、被爆体験講話会や写真資料調査部会員による展示解説も行いました。令和7年度は鹿児島県鹿児島市、香川県高松市の2自治体で開催する予定です。



平和案内人活動20周年記念誌

平成17年度に活動を開始したボランティアガイド「平和案内人」が、令和7年4月1日に20周年を迎えるにあたり、活動をまとめた「平和案内人活動20周年記念誌」を制作しました。

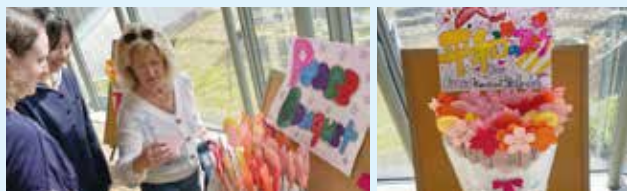
20年間の活動年表や第1期生から第8期生までの育成講座の内容、平和案内人から寄せられた活動時の思い出なども掲載しました。



国際青年平和交流事業（令和6年度は2つの団体が認定されました）

活水高校・平和学習部

「平和のブーケ」



原爆資料館の来場者に花びらを模った色紙に平和へのメッセージを書いてもらい、花束のように1つにまとめることで「平和のブーケ」をつくりました。資料館を訪れた外国人とコミュニケーションを図りつつ、多くの人に参加してもらうことで多様性や人類の共生・世界平和を表現しました。

海星高校・国際平和交流団

「Kaisei International Exchange For Peace Program」



英語部の生徒を中心にチームをつくり、長崎を訪れたイタリアの高校生らと平和交流活動を行いました。互いの国の歴史や文化を理解し、平和に対する思いを共有しました。イタリア人教師によるナチス・ドイツの講話もあり、日本人だけでは気づかない視点・価値観を学ぶことができました。

国連からのメッセージも紹介 平和を願い「第九」を大合唱



「国連と追悼する戦後（被爆）80周年平和コンサート」が5月25日、長崎市で開催されました。高校時代を長崎で過ごしたアメリカ在住の指揮者・伊藤玲奈さんが、音楽を通して平和について考えてもらおうと企画しました。

ベートーベンの交響曲第9番・第4楽章「歓喜の歌」のドイツ語の歌詞について伊藤さんが解説した後、公募で集まった県民ら約130人が大合唱しました。

演奏の前に国連大使らのメッセージが紹介され、国連・経済社会理事会のボブ・レー議長は「平和が広がり、戦争の惨禍が二度と繰り返されない世界を築くため、我々と一緒に歩み続けましょ」と呼びかけました。（写真提供：長崎新聞社）

被爆場所等で語る被爆証言映像 「8月9日の記憶」上映会



語り部として活動している平和推進協会の継承部会員（被爆者）の被爆体験を収録した「8月9日の記憶」の上映会を5月11日、原爆資料館ホールで開催しました。

被爆した場所で話を聞くことで、普段の講話では触れることができない詳細な話も盛り込まれているのが特徴です。

今回は昨年度撮影した末永浩さん、山川剛さん、奥村アヤ子さん、池田道明さん4人の映像を上映し、会場では涙を流しながら鑑賞する人の姿も見られました。

今回の4人を含む計20人の被爆証言映像はDVDで無料で貸し出しているほか、平和推進協会のYouTubeでも公開しています。



YouTubeは
コチラ

原爆死没者のお名前と 遺影をお寄せください



一枚の写真に、平和への願いを込めて

長崎・広島の実地原爆死没者追悼平和祈念館では、原爆死没者を追悼するとともに、原爆で多くの人が犠牲になった事実を伝えるため、原爆死没者のお名前と遺影（写真）を集めています。

ご登録いただいたお名前とお写真は長崎と広島の実地原爆死没者追悼平和祈念館で永久に保存され、館内にある8面遺影表示装置に順次大きく映し出されます。また館内設置の検索用端末では個別にお名前と遺影（写真）をご覧いただけます。（いずれも「公開」の承諾をいただいた方のみ）

詳しくは、追悼平和祈念館「遺影担当」（095-814-0055）までお問合せください。

80回目の原爆の日を前に 原爆死没者名簿の風通し



原爆で亡くなった方々の名前を記した原爆死没者名簿の風通しが5月16日、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館交流ラウンジで行われました。名簿は全部で203冊、昨年7月までに死亡が判明した19万8890人の名前が記されています。白い手袋を着用した長崎市職員が名簿を一枚一枚丁寧にめくり、外気に当て湿気を取り除くとともに、傷みがないか確認していました。

また、8月9日の平和祈念式典で奉安される新たな死没者名簿は、6月から「筆耕」が始まりました。被爆2世で書道家の森田孝子さんが、この一年に亡くなった約3300人の名前を書き入れています。

アトミック・ベテランズ (Atomic Veterans)

昨年6月、軍人だった祖父のアルバムを携え当協会の写真資料調査部会を訪ねて来たアメリカ人女性達が、今年4月再び長崎を訪れた。ビクトリア・ケリーさん(41)とカリン・タナベさん(44)。なんと今回は映画撮影のための来日だった。

ケリーさんの祖父カーマイン・ジェラルディさんは23歳の時、海兵隊員としてサイパン・沖縄を経て1945年9月23日に長崎に上陸した。戦場で医療業務に当たる衛生兵だった祖父は被爆直後の長崎で何を見たのか?アメリカに戻った祖父は「戦争トラウマ」のためアルコール依存症となり42歳の若さで亡くなったという。

今回の映画はアメリカの制作会社「ブルーチョークメディア」が、ケリーさんとカリンさんを主人公に「アトミック・ベテランズ(被爆退役軍人)」をテーマにしたもの。長崎・広島の被爆地に上陸したり、核実験に従事した兵隊は全米で20万人以上ともいわれている。

ケリーさん達は松田部会長らから原爆被災写真の説明を受け祖父が見たであろう被爆の惨状を追体験したほか、原爆資料館を見学し、追悼平和祈念館では原爆死没者を弔った。

ベトナム戦争帰還兵の間で精神疾患などの後遺症が問題となったことは知られているが、原爆投下により米軍兵士が「戦争トラウマ」になっていたことはアメリカ本国でもあまり知られていないという。

今回撮影された映画『Atomic Veterans(仮)』は今年8月、原爆投下80周年のドキュメンタリーとして西海岸北部での放送を皮切りに、アメリカ全土の公共放送局に配給される予定。



左・ケリーさん
右・カリンさん



祖父・ジェラルディさん



負傷した兵士の治療に携わった



映画の撮影風景(左:原爆資料館 右:追悼平和祈念館)

「語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)」推進事業 被爆体験を託したいかた・受け継ぐかたを募集しています

原爆投下・終戦から80年が経過する中、高齢化が進む被爆者から直接お話をお聞きすることが難しくなりつつあります。「あの日を あの体験を繰り返させない」という被爆者の思いを後世に伝えるために、長崎市では、被爆者との交流を深め、その体験や想いを聞き取る「語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)」推進事業を実施しています。

今年も被爆体験を「託したいかた(被爆者)」と被爆体験を「受け継ぐかた」を募集しています。

詳しくは事務局までお問合せいただくか、右記二次元コードからご確認ください。

(「語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)」推進事業は、長崎市からの受託事業です)



NO.33



Peace Wing Nagasaki
会員の広場



継承部会・新部会長
(今年4月に就任)
八木 道子

次世代の皆さんに被爆体験(記憶遺産)の「継承」を切願し、可能な限り「語り部」活動に参加してまいります。

被爆80年。被爆者の平均年齢は85歳と聞きます。直接の被爆体験を証言できる人も限られてきました。人々の記憶から被爆の実相が消滅していく現実を、私は強く強く恐れる一人です。

教職の最後は1400人余りの児童が原爆の犠牲となった城山小学校でした。教員の退職はあっても、被爆者の其れはない。被爆教師の会の先輩の言葉に背を押された私です。

防空壕の中で生活が始まりました。幾日か経ると壕の中が腐敗した異臭で息苦しくなったことを、いまだに忘れることができません。

「あつー飛行機よ。飛行機見ようー」と、5人揃って2階縁側の手すりから身を乗り出し、飛行機に向かって「頑張れー」と手を振った瞬間でした。《ヒッパッ!!》目の前が真っ白になると同時に『ドーン』もの凄いい音、爆風。それも一瞬でした。

被爆体験(記憶遺産)の「継承」を切願
原爆被爆その日、私(小1)達ことも5人は、爆心地から南東3.3Km離れた鳴滝町の自宅で遊んでいました。

TOPICS! へいわトピックス

核なき世界へ交流を 長崎ピースプレナーフォーラム

世界各国の若者が集まり平和な未来を築くために話し合う「ピース・プレナー・フォーラム」が5月16日～18日、長崎市で開催されました。次世代のリーダー（18歳～32歳）が集う国際会議「ワン・ヤング・ワールド(OYW)」の分科会で、世界15か国から約400人が参加、長崎での開催は去年に続き2回目です。



前夜祭でOYW長崎協議会の調漸会長は「世界の平和が不安定な今、平和活動に携わる人を増やす好機になる」と挨拶しました。期間中、サッカー日本代表監督の森保一さんらによるトークセッションや、平和を題材としたワークショップなどが開かれ、「分断と対話」をテーマに国籍や人種、宗教、性別による違いを乗り越え、共に未来を創造しようと話し合いました。

被爆80年企画「見よう 聞こう 考えよう in 追悼平和祈念館」参加者募集

日時:8月24日(日)、8月30日(土)

各日、午前の部 :10時～11時30分、午後の部 :14時～15時30分

対象:小学生

(保護者の方も一緒にご参加いただけます。)

定員:各回10人 参加費:無料

場所:国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

(長崎市平野町7-8)

申込方法:追悼平和祈念館ウェブサイト
からお願いします。

申込締切:7月31日(木)



祈念館
ウェブサイト

被爆80年企画

見よう 聞こう 考えよう
in 追悼平和祈念館

参加無料 / 要 事前申込

ハク

内容

- クイズに答えながら、祈念館を見学しよう!
- 開催中の原爆写真展と一緒に見てみよう!
- peaceな缶バッチを作ろう! プレゼント

世界の現役核弾頭の数 (令和6年度より「全保有核弾頭数」から「現役核弾頭数」表示に変更)

	ロシア	米 国	中 国	フランス	英 国	インド	パキスタン	イスラエル	北朝鮮	合計
2025年 6月1日	4,310	3,700	600	290	225	180	170	90	50	9,615

情報提供: 長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) <https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

寄附者紹介

ありがとうございます

●(株)ひろたか

六万円 (敬称略)

●松川 綾

四万円

●浦田 藤枝

一万円

●橘田 侑虎

一万円

●原対協職員組合

一万円

●宝塚市立保倉中学校

一万円

●古井 智晴

一万円

●大坪 留美

五千元

●シミズアキコ

五千元

●松本 由美子

三千元

●匿名

二千元

(令和7年3月～5月分)
皆様から寄せられたご寄附は、平和推進事業の貴重な財源として活用させていただきます。ぜひ当協会にご寄附をお寄せください。

会員数報告

◎維持会員

1,070名

◎賛助会員

182名

◎学生会員

110名

令和7年5月31日現在
賛助会員(団体法人)の一覧は協会ホームページに掲載しています。
ご支援ご協力誠にありがとうございます。
会員拡大にもご協力をお願いいたします。

当協会の活動は皆様の会費に支えられています。

お支払いいただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。どうか、事務局までご連絡ください。